

倫理 研究課題 <源流12>

教科書：p ~ 資料集：p ~ ノートp ~

③シハード（従来「聖戦」と訳されているが…）

＝神の言葉を守り広め、ムスリムの義務を果たすために奮闘・努力すること。

→ “侵略者に対する軍事的防衛” も含むが、本来は “自己（の欲望）との闘い”。

●ムスリムの生活（イスラム法は生活の隅々にまで浸透している）

（例）食生活

ハラム：クルアーンで食べることが禁じられている食品（緊急時は食べてもよい）

（例）豚肉、酒など（←ユダヤ教も同じ：資 p47）

ハラール：クルアーンで食べることが許されている食品

但し、クルアーンに定められた方法で処理・加工されたものに限る。

（例）牛を殺して肉にする際にはクルアーンを読み聞かせるなど

日本でも「ハラール食」を提供する航空会社やスーパーが増える傾向。

（例）女性の生活（女性差別か女性保護か？）

・身体の良い部分（髪や手足など）を男性に見せてはならない。→ブルカなどを着用

・女性は親族以外の男性と同席してはならない。→レストランは男性席と家族席に分割

・結婚は契約（離婚金額を婚時に約束）。男性は同等に愛せるなら4人まで妻をもてる。

※過剰な制約と指摘されるものもある →サウジアラビア：女性は自動車の運転禁止

●ムハンマド死後のイスラム共同体（ウンマ）の変化

①後継者をめぐって大きく2つに分裂。

スンニ派（多数派。世界中に分布）：選挙されたカリフが後継者（現在カリフ不在）

シーア派（少数派。イランとイラクに多く分布）：ムハンマドの子孫が後継者

※最近：カリフ制復活をめざす運動（＝国家を越えてムスリム共同体を目指す）

②ギリシア文化を受け継ぎ、発展させた（→ヨーロッパに伝わった）

アヴェロエス（イブン・ルシュッド）：医師・アリストテレス研究の大家

★ムスリムから私たちの生活を見ると、「野蛮で墮落している」と映る。どうしてだろう？

.....
.....